

二丁目住民の意見交換の場に

やっと出番が来たか！資料を繰る会長

2013年10月の役員会において、二丁目自治会の情報誌発行が役員に打診され、同年11月には「二丁目情報誌発行基本方針と具体的方策」が決定された。一・二丁目共同運営の「お桐なり陽」休刊に伴い、その際の決定事項が日の目を見ることになった。



桐陽台二丁目自治会
871世帯（7月1日現在）

発行基本方針

二丁目を舞台とするあらゆる分野の話題を取り上げ、自治会員相互の親近感を醸成する一助とする。

具体的方策

○個人および団体を誹謗中傷する記事は決して掲載しない。
○編集後の内容を複数の自治会幹部が前もって了解し、後に発行とする。
○二丁目住民の投稿は優先して掲載する。その掲載依頼内容が文章化されておらず、口頭による場合でも、できる限り対応する。
○企業広告を掲載することもある。ただし、二丁目住民の利益となることが明らかでない場合に限る。

はじめまして

平本竜也 様方
みずき ちゃん
令和元年12月4日生まれ

岡田康嗣 様方
嵐斗(らんと)ちゃん
令和2年1月30日生まれ

松田佳範 様方
琉叶(るか)ちゃん
令和2年2月1日生まれ

投稿募集

○編集は会長が中心となり、発行は不定期とする。

お桐なり陽が二丁目に来たことを機に「広報紙」であると共に自治会員の「コミュニケーションの場」とします。

原稿は↓班長↓組長↓会長

皆様からのご意見等は班長へご提出ください。班長は組長へ、組長は会長へ届けることとします。班長はじめ皆様のご協力をお願いします。

中川副会長退任

来、2015年文化部長就任以来、庶務担当、兼広報担当副会長として活躍してくださりました。中川さんの挨拶を紹介いたします。

『このたびは一生上の都合により退任させていただきます。なり退任させていただきました。短い間ではありましたが皆様のご指導により心から感謝申し上げます。今後とも桐陽台自治会の一員として活動をお願いいたします。ご挨拶とさせていただきます。中川潤』

知って欲しい でも近づかないで欲しい ゴミの持ち込みを危惧する地権者

二丁目周辺事業完了報告

○平成31年度 土砂流出林整備事業

（広島市森づくり推進事業）令和2年2月20日完了

場所：桐原東源寺（二丁目20番～26番東側山林）

内容：森林機能の回復を行い災害に強い森林にする。

○平成30年度 山地災害重点地域総合対策事業

桐原上高野 溪間工事No.9 令和2年6月21日完了

場所：桐原上高野（二丁目81番東側溪流）

内容：団地から約150m奥の溪流（既設堰堤のさらに上流）に土石流による荒廃を防止するため治山ダム1基（長さ31m高さ11m幅2m）を構築する。



↑ 整備完了後の山林 木製構造物が連なる

→ 新規の治山ダム



ミニ解説:SDGs(読み:エスディー・ジーズ Sustainable Development Goalsの略)

人々が地球環境や気候変動に配慮しながら、持続可能な暮らしをするために取り組むべき世界共通の行動目標（知恵蔵から）。

2030年までに達成を目指すターゲットには「食品廃棄物を半減させる」や「育児や介護、家事という家庭内の無報酬労働を評価し、責任を分担する」など日常生活でも取り組めるものが多い（2017-11-09 朝日新聞 夕刊のキーワード解説から）。

物置設置サポーター

「置き場」に物置を設置する際、一から助言できる自治会サポーターがいます。昨年度、自治会のボランティア募集の際に、二丁目エリアの「置き場」に物置を設置するのを補助しますとの名乗りを受けました。会長付きサポーターとしてぜひ活動して欲しいと依頼しました。自治会では「置き場」

「置き場」に物置を設置する自治会サポーター

「ミニ」が全部収まるの？
物置にしてゴミが収まるか不安。物置設置の利用住民の意思確認時に問題点として挙げられるのが物置にして扉が開閉できないほどのゴミの量になったときのことです。リサイクルプラの時や可燃ごみの収集休み（今年度では11月23日（月）12月31日（木）2月11日（木）が休み）となった次の回が想定されます。物置の設置を決めたエリアの皆様の場合、可燃ごみの減量への取り組みと共にリサイクルプラをスーパーの回収

き場のシートの購入補助はしていますが、シートに変わる物置の設置を想定しても自治会からの補助はありません。その為にもせめて人的補助はぜひ必要だと考えました。実績も生まれています。担当の自治会サポーターは、その置き場の利用住民の意思確認から、置き場スペースの計測、行政の補助金利用手続き、購入設置までその置き場に関わる複数の班長をリードして使用開始に至っています。

箱へ入れたり、押し潰したりすることで小さくすることを約束し、不安要素解消の努力をしていました。

SDGsの目標達成に貢献

各家庭での3R「リデュース（ゴミを出さない）」「リユース（再利用）」「リサイクル（再生利用）」を意識しての努力が国際社会の進めるSDGs（エスディー・ジーズ、持続可能な開発目標）の一翼を担っています。物置の設置は希望者がいて、さらにスペースがあつて初めて置き場使用が全員の意思確認を行います。その調査票が配布されるとは設置スペースがあるかどうかと判断され、是非前向きにお考えください。お願いします。「班長が判断するのよ」とか「自治会は薦めているのよ」とか、迷うことはございません。ゴミの減量は国際社会が取り組むべき問題として、各家庭にそしてひとり一人にお願いしていることなのです。会長佐々木満